

# 総務企画防災常任委員会行政視察報告書

西田 智男

## ○愛知県半田市

### 「マイレポはんだの概要と災害時の活用について」

#### 【所 見】

半田市は、人口約120,000人の都市である。財政指数の良好な愛知県にあり、財政健全度は総合31位、快適度31位、富裕度65位という数字のとおり、安定した行政運営がなされているようであった。

1. 「マイレポはんだ」導入の経緯について
2. 導入に要した期間について
3. 詳しい実施内容について
4. 導入後の効果について
5. 防災面での活用について、この5点について説明を受けた。

「マイレポはんだ」とは、スマートフォンの無料アプリを活用し、道路陥没、施設の破損など、まちの課題を手軽に解決する先進的な取り組みである。特に、災害時の冠水、がけ崩れ等による道路の通行不能箇所等を、写真や動画により情報提供する機能を加えており、災害対策本部が設置されるような災害や、防災訓練などで運用されている。

「マイレポはんだ」は、平成25年4月1日に千葉市の取り組みを紹介したNHKクローズアップ現代を見ていた市の幹部職員が企画に結び付けたものである。この年の7月から8月に実証実験ステップ1として職員が対応できるか検証し、翌年1月から3月にかけて実証実験ステップ2として、市民の参加による半田市全域における検証を行った。そして10月から運用が始まった。

導入当初の投稿件数は、年間200から400件だったが、その後匿名による投稿を加えるなど改善を行い、平成29年4月から新しく運用を開始した。

課題としては、アプリの登録者数が少ないということである。PTAなど、子育て世代をターゲットにPRを行うことや、高校生の参加を促していくなどして、改善を図っている。

耕作放棄地の草刈りなど、このアプリを利用した市民同士で問題解決がなされる事例がでてきているが、これは当初予期していなかった市民力の創出につながる効果である。

この取り組みについては、様々な課題があるものの必要な政策であり、しっか

りとした対策を講じつつ進めているとの説明をいただいた。

災害、有事に限らず、準備をしておくことの大切さを改めて感じた。

## ○愛知県高浜市

### 「市役所本庁舎整備事業について」

#### 【所見】

高浜市は、人口約48,000人。全国で富裕度21位、財政健全度21位と、健全な運営を感じる都市である。庁舎の整備に、リース方式を採用し、建て替えた事例を勉強してきた。

平成15年から施設の耐震診断を行い、庁舎の耐震改修及び劣化改修計画（基本設計）を建てた。平成22年、外部の要望によりリース方式につながった。庁舎の在り方の検討を重ね、平成26年1月に基本方針策定を公表したという。

本庁舎整備事業のポイントは3つ。1. 整備コスト、将来維持管理コストの低減を図る、2. 保有形態の見直しによるリース等を視野に入れた民間事業者のノウハウ、能力等を最大限活用した事業方式による提案募集、3. 整備費用を節減し、その財源を老朽化が著しい高浜小学校の建て替え整備に振り向ける。この方針を一貫して実施した。

支払コストの平準化を図り、削減費用を他に向けることができたこと。限られた庁舎面積の中で工夫が図られたこと。事業費の節減方法等について説明を受けた。

既に31自治体から視察を受け付けている。

現在までのところ、役所が借り物とはいかがなものか？など、市民からのネガティブな反応はないという。リース契約が満了する20年後の考え方については、業者と柔軟な対応を図るとのことであった。震度7以上の地震による庁舎破損の場合も協議によるとのことである。さらに、この事業による起債は一切発生していない。

この度の視察で、綿密な計算の上に成り立つ、新たな方式である素晴らしい事例にふれて、今後の議会活動の参考にしていきたいと強く感じたところである。